



眼科領域（網膜領域）研究助成プログラム

第9回（2023年度）バイエル レチナ・アワード 受賞対象決定

バイエル レチナ・アワードは、網膜疾患（後眼部領域）の科学的理解と臨床における診断、治療、患者マネージメントの発展に寄与するため、2015年に設立された研究助成プログラムです。

日本国内の大学、医療機関、研究機関等に所属する研究者を対象として、優れた研究計画に対して助成を行う事により、わが国の眼科医学の一層の進歩に寄与することを目的としております。

2023年度は、以下4つの研究に対して各300万円の助成が決定しました。

研究名	施設名 氏名
自然免疫記憶を用いた加齢黄斑変性に対する革新的治療の開発	京都大学医学部附属病院 眼科 畑 匡侑 先生
コレステロール代謝制御による加齢黄斑変性に対する新規治療法の開発	慶應義塾大学医学部 眼科学教室 伴 紀充 先生
網羅的脂質解析による加齢黄斑変性の新規治療法開発への挑戦	順天堂大学医学部 眼科学講座 平形 寿彬 先生
広角網膜走査型多局所網膜電図の開発と近視による網膜機能変化の探索	帝京大学医療技術学部 視能矯正学科 広田 雅和 先生

(50音順)

バイエル レチナ・アワードに関する詳細は[こちら](#)をご覧ください。